

心理学関係邦訳書目録——明治篇(下)

田中邦夫

MAASS, Bernhard (? , 独) リーグニッ
ツ師範学校校長。

Die psychologie in ihrer Anwendung
auf die Schulpraxis, 1879. [Separat-
Abdruck aus der zweiten Auflage von
'Der Volksschul-Unterricht' von Ed-
uard Bock.]

(70)小学校教師用心理学摘要 ベー・マ
ース著 エドアルド・ボック摘要 湯本
武比古抄訳 博文堂 明21(1888) 101p
<特21-224>

(71)学校実用心理学 ベー・マース著
湯本武比古訳 金港堂 明22, 24(1889,
91) 2冊 計270p <42-57>

MARION, Henri (1846~1896, 仏) パリ大
学文学部教授。

Psychologie de la femme, 1900.

<105-131>

(72)女性の心理 ヘンリ・マリオン著
前田長太訳 開発社 [明41(1908)]
305p <63-205>

MESMER, Franz (Friedrich) Anton

(1734~1815, オーストリア) ウィーンの医
師。磁石を利用した催眠術を始め、諸病を治療した。
生前は認められず山師とされた。

原題、刊行年不詳

(73)動物電気概論 鈴木万次郎訳 十字
屋 明18(1885) 42p (以下欠)
<19-101>

MEUMANN, Ernest (1862~1913, 独)

ヴントの弟子。ライプチヒ、ハンブルグ等の教授。
実験教育学を提唱した。

Vorlesungen zur Einführung in die ex-
perimentelle Pädagogik und ihre psy-
chologischen Grundlagen, 1907.

<252-M571>

(74)モイマン氏実験教育学講義 稲垣末
松講述 開発社 明41~42(1908~09)
2冊 計794p <252-179>
[21章中11章の訳]

(75)実験教育学 モイマン著 吉田熊次
解説 目黒書店 明42(1909) (新著梗
概 第4輯上 p184~200) <78-66>
[原著初版2巻の内、第1巻の概要]

MORGAN, Conwy Lloyd (1852~1936,

英) ブリストル大教授。進化論の影響下に人と動物
の比較研究を行ない、比較心理学の先駆者とされる。

An introduction to comparative psycho-
logy, 1894. <147-284>

(76)モルガン氏比較心理学序論 杉山富
槌解説 育成会 明33(1900) 144p
(心理学書解説分冊第3) <87-10>

MORGAN, Thomas Hunt (1866~1945,

米) コロンビア大実験動物学教授。

Evolution and adaptation, 1903.

(77)進化と道徳 モルガン著 中島力造
紹介并短評 目黒書店 明39(1906)
(新著梗概 第2輯上 p1~22) <78-66>

MORRISON, William Douglas (1853~

- 1943, 英) ロンドン郊外のH.M. 刑務所勤務。
 Juvenile offenders, 1897. <128-176>
 (78)不良少年 モリソン著 小塩高恒訳
 警醒社 明45(1912) 354 p <342-63>
- MÜNSTERBERG, Hugo** (1863~1916,
 独) ヴント門下からハーヴァードの教授となり、以
 後米において多方面の応用心理学の発達に寄与した。
 Die Amerikaner, 1904. <160-2>
 (79)米国民 ミュンスターベルヒ著 岡
 村喜代志重訳 大日本文明協会 明44
 (1911) 852 p (大日本文明協会刊行叢
 書第38編) <78-98>
 [The Americans, 1905, tr. by Edwin
 B. Holt. <162-68> による]
 Psychology and crime, 1909. <193-181>
 (80)心理学と犯罪 ミュンスターベルヒ
 著 速水滉解説 目黒書店 明44(1911)
 (新著梗概 第5輯 p 85~112)
 <78-66>
- PRATT, James Bissett** (1875~1944, 米)
 ウィリアムズ・カレッジ哲学助教授。
 The psychology of religious belief, 1907.
 <183-148>
 (81)宗教心理学 プラット著 加藤玄智
 口述 目黒書店 明42(1909) (新著梗
 概 第4輯上 p 151~159) <78-66>
- PREYER, William** (1841~1897, 独) イ
 ェナ大生理学教授。本書は最初の児童心理学書であ
 る。
 Die Seele des Kindes; Beobachtungen
 über die geistige Entwicklung des
 Menschen in den ersten Lebensjahren,
 1882. <112-111>
 英訳: The mind in the child, 1888-
 1889, tr. by H.W. Brown.
 <59-276>, <59-277>
 (82)幼児心意発達之理 プライヤー著
 ブラウン英訳 寺内頼重訳 黒田定治校
 内田老鶴圃 明28(1895) 191 p
- <72-185>
PRINCE, Morton (1854~1929, 米) ハー
 ヴァードに臨床心理学研究所を創設。臨床心理学と
 正統派心理学の統一をめざした。
 Subconscious phenomena, 1910.
 (83)副意識現象 プリンス, モルトン著
 久保良英解説 目黒書店 明45(1912)
 (新著梗概 第7輯 p 30~62) <78-66>
 [6名の学者の説を Prince がまとめた
 ものより, Prince, Münsterberg, Ribot
 の部分を解説]
- RADESTOCK, Paul** (? , 独)
 Die Gewöhnung und ihre Wichtigkeit
 für die Erziehung, eine psychologisch-
 pädagogische Untersuchung, 1882.
 英訳: Habit and its importance in ed-
 ucation; an essay in pedagogical psy-
 chology, 1886, tr. by F.A. Caspari.
 <253-R114>
 (84)慣習之心理ト其効用 パウル・ラー
 デストック著 重見経威重訳 普及舎
 明27(1894) 182 p <72-154>
- RIBOT, Théodule Armande** (1839~
 1916, 仏) フランスにおける科学的心理学の始祖で
 あり、英独の心理学を紹介する一方、自らも異常心
 理学等多方面の研究を行ない、いわゆる「病理的方
 法」を確立した。
 L'hérédité; étude psychologique sur ses
 phénomènes, ses lois, ses causes, ses
 conséquences, 1873. <169-219>
 [2版以降 L'hérédité psychologique.]
 (85)心性遺伝論 リボー著 田中勝之丞
 訳 金港堂 明32(1899) 316 p
 <84-100>
 [全4篇中事実, 理法の2篇の訳]
 Psychologie allemande contemporaine,
 1879.
 (86)心理学史(独逸国最近心理学説史)
 リボー著 田中治六訳 哲学館 [明27

(1894?) 113 p (哲学館第6学年講義録) <14-219>

〔「心理論」(井上円了講), 「心理学情感論」(沢柳政太郎講)と合冊]

La psychologie de l'attention, 1889.

La psychologie des sentiments, 1896.

(87) リボー氏感情之心理及注意之心理
市川源三解説 育成会 明33(1900) 166 p

(心理学書解説分冊第2) <87-10>

〔英訳: Psychology of attention, 1889 <103-38>, The psychology of the emotions, 1897 <193-198> による]

La logique des sentiments, 1905.

(88)感情の論理 リボー著 上野陽一解説
目黒書店 明44(1911) (新著梗概 第6輯 p 27~73) <78-66>

ROSS, Edward Alsworth (1866~1951, 米) ウィスコンシン大社会学教授。本書は「社会心理学」と題した最初の本である。

Social psychology; an outline and source book, 1908. <301.15-R823 s>

(89)社会心理学 ロス著 今沢慈海解説
目黒書店 明44(1911) (新著梗概 第6輯 p 74~144) <78-66>

ROYCE, Josiah (1855~1916, 米) ハーヴァード大哲学教授。

Outlines of psychology; an elementary treatise with some practical applications, 1903. <150-R888 o>

(90)ロイス氏心理学 ジョージア・ロイス著 風見謙次郎訳 成美堂 明43 (1910) 398 p <328-355>

SCRIPTURE, Edward Wheeler (1864~1943, 米) ヴェント門下。イェールの心理学実験室の創設者。

The new psychology, 1897. <193-301>

(91)実験新心理学 スクリプチュアー著
塚原政次訳 富山房 明34(1901) 2冊 計642 p <93-14>

SPENCER, Herbert (1820~1903, 英)

哲学者。ダーウィンに先んじた進化論的思想の提唱者であり、その「綜合哲学」全10巻(1862~1893)は当時の各国に広く普及した。「Principles of psychology」(1855, 第2版1870) <G37>はジェームズなどに大きな影響を与えている。

First principles, 1862.

<G35>, <1-117>, <G39>

(92)万物進化要論 スペンサー著 杉本清寿、西村玄道抄訳 民徳館 明17(1884) 111 p <34-44>

〔第2篇12~17章の訳]

(93)哲学原理 スペンサー著 山口松五郎訳 加藤正七刊 明17(1884) 上巻之一~三合本 計365 p <32-96>

〔第4版(1880)第1編の訳]

(94) 哲学原理 波, 斯辺鎖著 山口松五郎訳 加藤正七刊 明17(1884) 123 p <32-96イ>

〔表紙, 扉に完とあるが, (93)の上巻之三と同一]

(95)斯氏哲学要義・一名「スペンサー氏」原理総論摘要俗解 辰巳小二郎訳述 哲学書院 明20(1887) 128 p <特21-975> 〔第1編の要約]

(96)綜合哲学原理 スペンサー著 藤井宇平訳 経済雑誌社 明31(1898) 826 +7 p <76-220>

〔第4版(1880)の全訳。原著者による「すぺんさー氏綜合哲学大綱領」(Athenaem誌 1882.7)を付する]

Education; intellectual, moral, and physical, 1861. <252-Sp3>, <G59>

(97)斯氏教育論 斯本色(ハルベルト・スペンセル)著 尺振八訳 文部省 明13(1880) 479 p <253-3イ>

〔米版(1875)による]

(98)斯辺鎖氏教育論講義 小田貴雄講述 伊勢崎真理書房 明18(1885) 上巻 268

p

<253-3ロ>

[1~2章]

(99)標註斯氏教育論 斯辺鎖著 有賀長雄訳註 牧野善兵衛刊 明19(1886)上下合本 計571p <253-3ハ>

[背表紙に下巻とあるが上下合本。なお(99)~(101)は米版(1885)と日本翻刻版(1883)による]

(100)標註斯氏教育論 斯辺鎖著 有賀長雄訳註 牧野善兵衛刊 明20(1887)2版 上下合本 計571p <253-3ニ>

[(99)と同一だが、背表紙に完とあり]

(101)校正標註斯氏教育論 スペンセル著 有賀長雄訳註 大阪三木佐助刊 明25(1892)4版 571p <253-3ホ>

[校正のあと殆んど見られず]

* Education; intellectual, moral, and physical. Iwafuji, Katow, Kamei, Ishikawa, & Co. [石川貴知, 亀井忠一, 加藤鎮吉, 岩藤錠太郎], 1883[明16] 283p <特48-69>

The study of sociology, 1873. <78-8>

(102)社会学 スペンサー著 大石正己訳 大石正己, 是我書房刊 明16(1883)5冊 計775p <31-233>

[1~10章の訳]

STANLEY, Hiram Miner (1859~?, 米)

An outline sketch, psychology for beginners, 1899.

(103)スタンレー氏心理学 教育研究所訳 右文館 明33(1900)68p<81-421> [扉には「スタンレー」とあり]

(104)英和对訳心理学 ハイラム・エム・スタンレー著 教育学術研究会訳 同文館 明36(1903)70p (教育研究叢書) <138-184(洋)>

STOUT, George Frederick (1860~

1944, 英) オクスフォード等の教授をつとめ, "A

manual of psychology" は体系的心理学書として長く読まれた。

A manual of psychology, 1898-1899.

(105)スタウト氏心理学 塚原政次解説 育成会 明34(1901)240p (心理学書解説分冊第9) <87-10>

Error. In: Henry Sturt, ed., Personal idealism; philosophical essays by eight members of the University of Oxford' 1902, p 1~46. <192-28>

(106)誤謬論 スタウト著 中島力造解説 目黒書店 明38(1905) (新著梗概 第1輯下 p75~83) <78-66>

The groundwork of psychology, 1903. <193-263>

(107)心理学原論 スタウト著 中島徳蔵解説 目黒書店 明39(1906) (新著梗概 第2輯下 p56~83) <78-66>

STRONG, Charles Augustus (1862~1940, 米) コロンビア大心理学教授。

Why the mind has a body, 1903. <197-290>

(108)心身関係論 ストロング著 中島力造口述 目黒書店 明39(1906) (新著梗概 第2輯上 p23~66) <78-66>

SULLY, James (1842~1923, 英) ロンドン大教授。"Outlines of psychology" (1884) <42-16> はベインに次ぐ体系的心理学書として歓迎された。のち児童心理学に向かい、英国児童学会を創立。

Teacher's handbook of psychology; on the basis of the "Outlines of psychology", 1886. <252-Su5>

(109)左氏応用心理学 惹迷斯左来著 和久辰辰訳 牧野書房 明20~21(1887~88) 972p (第1~8巻合本) <23-210>

(110)左氏応用心理学 惹迷斯左来著 和久辰辰訳 牧野書房 明23(1890) 2冊 972p <23-210イ>

〔原書第3版(1890)により改訂とあり〕
Studies of childhood, 1895.

<252.5-Su5>, <252.5-Su541>

(111)サレー氏児童心理学 黒田定治解
説 育成会 明33(1900) 214p (心理
学書解説分冊第1) <87-10>

SURBLED, Georges (1855~?, 仏) 医学
者。脳の研究の他多くの通俗医学書がある。

Intelligence et cerveau. [Le cerveau, 1890
の一部と思われる]

(112)智識と脳髄 スルプレー著 教学
研鑽和仏協会訳 教学研鑽和仏協会 明
42(1909) 56p <25-802>

(113)智識と脳髄 スルプレー著 教学
研鑽和仏協会訳 教学研鑽和仏協会 明
42(1909) 2版 56p <特49-799>

〔(112)と同一。但し扉が残存〕

TAYLOR, Albert Reynolds (1846~
1929, 米) カンザス州立師範学校校長。

The study of the child; a brief treatise
on the psychology of the child with
suggestions for teachers, students, and
parents, 1898. <252.5-T215>

(114)児童心理及研究法 エー, アール,
テーラー著 斎藤斐章抄訳 同文館 明
33(1900) 311p <252.5-9>

THORNDIKE, Edward Lee (1874~
1949, 米) コロンビア大心理学教授。動物実験によ
る学習心理学の開拓者。

The human nature club; an introduction
to the study of mental life, 1900.

<140-22>

(115)人性研究 イー, ソーンダイク著
北沢定吉訳 日本済美会 明37(1904)
272p <45-467>

TIEDEMANN, Dietrich (1748~1803,
独) マールブルグ大哲学教授。児童心理学, 経験心
理学の業績も残した。

Beobachtungen über die Entwicklung

der Seelenfähigkeiten bei Kindern.
Hessische Beiträge zur Gelehrsamkeit
und Kunst, 1787, Stück 2 und 3 (Ge-
samtzählung: Stück 6 und 7).

(116)ティエデマン氏 児童観察録 及其批
評 教育研究所訳編 右文館 明32(1899)
94p (児童研究文庫 第1編)

<252.5-6>

[Tiedemann's record of infant life, an
English version of the French trans-
lation and commentary by Bernard
Perez, 1890 によるものか。Perezの原
文は Thierrri Tiedemann et la science
de l'enfant, 1881]

TITCHENER, Edward Bradford (1876.
~1927, 英) ヴント門下よりアメリカに渡り, コ
ーネル大においてヴントの学風の移植に努め, 厳密
な内観の実験心理学の指導により大きな影響を与え
た。

An outline of psychology, 1896.

(117)ティチュナー氏心理学綱要 松本
孝次郎解説 東京専門学校出版部 [明
33(1900)] 和148p (名著綱要文学教
育科1) <41-102>

A primer of psychology, 1898.

(118)心理学通論 ティチュナー著 石
幡伊三郎訳 元良勇次郎, 速水澁, 深作
安文, 紀平正美校 同文館 明40(1907)
371p <63-3>

TRACY, Frederick (? , カナダ) トロ
ント大哲学講師。

The psychology of childhood, 1893.

<127-256>

(119)児童心理学 フレデリック, トレ
イシイ著 高島平三郎, 松本孝次郎訳
普及舎 明32(1899) 312p <252.5-4>

*The psychology of childhood. 西東書
房 明32(1899) 170p <252.5-T675>
〔第4版(1897)の翻刻〕

WUNDT, Wilhelm Max (1832~1920,

独) 1879年にライプチヒに世界最初の心理学実験室を設立、各国の多くの研究者を育て、近代心理学の始祖的存在である。研究分野は生理学的心理学、民族心理学から晩年は哲学、倫理学に及んだ。

Vorlesungen über Menschen- und Tierseele, 1863

英訳: Lectures on human and animal psychology, 1896, tr. by J.E. Creighton & E.B. Titchener. <150-W965 L>

(120)人類及動物心理学講義 ウィルヘル・ヴント著 寺内頼重訳 集英堂 明35(1902) 2冊 計534p <93-116>

[英訳は原書第2版(1892)による]

Grundriss der Psychologie, 1896.

<150-W965 g>

(121)ヴント氏心理学 元良勇次郎, 中島泰蔵訳 富山房 明31~32(1898~99) 3冊 計652p <79-229>

[上巻に明32(1899)の訂正再版があり、通しページはこの方による。訳語、ページ組みが相当異なる。上巻初版は234p, 再版222p]

(122)ヴント氏心理学概論 中島泰蔵解説 育成会 明34(1901) 176p (心理学書解説分冊第10) <87-10>

Psychologie. In: Die Philosophie im Beginn des zwanzigsten Jahrhunderts, hrsg. von W. Windelband, 1904.

<190-W763 p>

(123)心理学 ヴント著 大島直治解説 目黒書店 明38(1905) (新著梗概 第3輯下 p 193~236) <78-66>

ZIEHEN, Theodor (1862~1950, 独) イ

ェナ大, エトレヒト大等の精神医学, 生理学的心理学

の教授を歴任。

Leitfaden der physiologischen Psychologie in 14 Vorlesungen, 1891.

(124)チーヘン氏生理的心理学 松本孝次郎解説 育成会 明33(1900) 159p

(心理学書解説分冊第6) <87-10>

(125)チーヘン氏増補生理的心理学 テラドール・チーヘン著 松本孝次郎訳 成美堂 明34(1901)増補 526p

<88-157>

[(124), (125)共に原書第4版 Leitfaden der physiologischen Psychologie in 15 Vorlesungen, 1898 による]

追記 (上)印刷後、次の事項が判明したので記しておく。

ブーミー, エミール→**BOUTMY, Émile Gaston** (1835~1906, 仏) 著作家。文明史, 憲政史などの教授もつとめた。

(13)の原書: Essai d'une psychologie politique du peuple anglais au XIXe siècle, 1901. <144-37>

英訳: The English people; a study of their political psychology, 1904.

<159-44>

なお、当館に所蔵のあった原書には更に次のようなものがある。()内は邦訳書番号。

(16) 英訳書<252.5-C73>, (29)<159-138>, (47)(48)<150-J29t>, (52)<59-278>, (62) 英訳書<136.4-L447p>, (64)<301.15-L447p>

(たなか・くにお 索引課副主査)